

五臓の病証 [ 東概 ]

作成：りんご鍼灸院

行季蔵	木 春 肝	火 夏 心	土 長夏 脾	金 秋 肺	水 冬 腎
	肝気の鬱滞(実) 精神的ストレス 肝の 疏泄機能失調による 病証 気鬱、気滞 + 精神 状況 悪循環に 主症: 精神抑鬱	心気虚 先天の不足、情動 の失調、慢性病・老 齢に伴う機能減退 虚弱病証 主症: 心悸 胸悶、息切れ	脾気虚 消化機能障害 脾 胃虚弱 主症: 食欲不振、泥 状便、膨満感 ... 血便、血尿	肺の宣発・粛降の 失調 外邪、痰湿の停滞 气道・水道機能 失調 主症: 咳嗽、痰、鼻 の異常 + 悪寒等	腎精不足 乳幼児期: 五遅・五 難、思春期: 性器の 成熟、壮年期: 性機 能に影響、老年期: 老化 脳髄・脊髄
	肝火の亢進(実) 肝気の鬱滞の進行 し化火し、上逆す る病証 (刺激物の過度の 摂取も) 主症: 顔面 部に熱象	心陽虚 長期の心気虚、重 い病による陽の損 傷 虚寒病証 主症: 心悸、胸痛、 畏寒、四肢の冷え	脾陽虚 脾気虚の証候 + 虚 寒病証 腹部の冷 え、下痢 + 腎陽 五更泄瀉 (下痢) 脾腎陽虚の 証候	肺気虚 肺気損傷、脾虚 肺機能減退、衛表 不固と津液輸送機 能失調 主症: 無力な咳嗽、 喘息、自汗	腎陰虚 陰液不足・虚火を 伴う。先天不足、房 事過多、過度の出 血、脱液、恐怖 主症: 腰・膝軟弱 化、マイ、五心煩熱
	肝陰虚 肝の陰液不足によ る滋養、滋潤作用 低下 虚熱病証 主症: 目の乾燥&異 物感痛	心血虚 血の不足のために 心が血の栄養不足 により起こる病証 主症: 心悸、不眠、 めまい、健忘	脾陰虚 労倦内傷 脾の陰 血、津液不足 主症: 食欲不振、腹 部膨満感 虚熱所見: 舌紅、舌 苔無苔	肺陰虚 肺の陰液損傷 虚 熱が内生 粛降機 能失調、虚熱証。主 症: から咳、むせか えるような咳、咽 頭の乾き、痰は粘 く量は少ない。潮 熱。陰虚による午 後の潮熱、五心煩 熱、盗汗など伴い やすい。痰に血混 じること	腎陽虚 命門火衰。温煦作 用低下、気化機能 低下。腎気虚、他の 陽虚からも。 主症: 腰膝軟弱 化、冷え、四肢冷え
	肝陽の亢進 肝の陰虚陽亢、陽 の亢進、陰虚 本 虚標実証 めまい、頭痛、耳鳴 り、目の充血	心陰虚 心の陰液不足より 心の神を主る機能 減退により現れる 病証 主症: 心悸、不眠、 五心煩熱	脾胃湿熱 長期に湿が滞り、 化熱したor偏食、 酒の常飲 虚実夾雜証 膨満感、腹部陰痛、 口が粘る		腎気虚 先天不足、労倦内 傷、老化、慢性の気 虚病証 ... 固損機能低下 腎気不固: 遺精、 早漏、流産。 ... 納気機能低下 腎不納気: 喘息、 呼吸困難
	肝血虚 肝血消耗 関連臓 腑の栄養不良 主症: 目の乾き、脇 部陰通、唇、舌質が 淡白、筋肉拘急、月 経血量少	心火の亢進 心火により心神が 影響を受ける病証 実熱症 主症: 心悸、胸部の 煩熱感、不眠、尿赤 ... 狂乱	脾胃升降失調 脾の昇清、胃の降 濁作用の失調 心 下痞(ツガ) 心 主症: 悪心、嘔吐、 噎気(ゲップ)、腹 鳴、下痢		
	肝風 内風証の一つ。ふる え等の動揺現 象、めまい、痙攣な どの病証。肝腎の 極度の陰虚... 半 身不随	心脈の阻滞 心脈の流れが悪く なり起こる病証 血行障害、お血、痰 濁や気滞 心脈の 停滞 主症: 心悸、胸痛			
外	風	暑(熱)	湿	燥	寒
志	怒	喜	思	憂	恐
味	酸	苦	甘	辛	鹹
主	筋	血脈	肌肉	皮毛	骨髓
官	目	舌	口	鼻	耳
華	爪	面色(顔面・色つや)	唇	毛	骨
主	筋	血脈	肌肉	皮毛	骨髓
液	淚	汗	涎(唾液)	涕(鼻水)	唾(よだれ)

この資料の再配布は禁止しています